

教育相談  
072-924-3892

情報推進  
072-992-3910

研究・研修  
072-924-0583

八尾市ホームページ <http://www.city.yao.osaka.jp/>  
(「教育委員会」のページよりご覧ください)

## 八尾の小さな巨匠展

日 時：平成29年1月25日（水）～1月27日（金）

場 所：八尾市文化会館「プリズムホール」 3階 展示室

「八尾の小さな巨匠展」は、八尾市内の小・中学校支援学級ならびに八尾市立特別支援学校、大阪府立八尾支援学校、大阪府立藤井寺支援学校の児童・生徒の作品を展示する作品展です。主催は八尾市教育研究会で、子どもたちの学習の成果を認め合い、作品展示を通して交流を深めるとともに、障がい児（者）教育に対する理解・啓発、そして共に生きる社会の実現の一助となることをめざし、毎年開催されております。

初日のオープニングセレモニーでは、八尾市立高美南小学校・八尾市立刑部小学校の児童と、八尾市立特別支援学校の生徒が児童・生徒代表あいさつをしました。また、八尾市立南山本小学校の児童と八尾市立特別支援学校の児童と生徒がテープカットを行いました。



展示された作品は、どの作品も子どもたちの個性と創造性に溢れ、まさに「小さな巨匠」と呼ぶにふさわしいようなものばかりでした。3日間の開催期間中は、子どもたちだけでなく保護者や市民の方も会場を訪れ、展示された作品を熱心に興味深く観賞されていました。

来賓の方々をはじめ、皆様のあたたかいご支援により、盛会のうちに作品展を終えることができました。

## 授業の達人

良い授業をたくさん見て学びたい！という若手教員のニーズに応えるため、今年度新たに企画した『「授業の達人」研修』。「授業の達人」による公開授業を3学期も実施しました。

1月24日に八尾市立北山本小学校、1月26日と2月2日に八尾市立刑部小学校、2月14日に八尾市立長池小学校でそれぞれ実施しました。

参加した教員からは、「（当日の授業での実践を）自分のクラスでも取り入れていきたい。」「（当日の授業展開を）ぜひ、試したい。」「授業の進め方や学級経営の方法をたくさん学ぶことができた。」「質問もできて、アドバイスもいただけたので本当に充実した時間だった。」などの声が聞かれました。先輩の実践を直に学ぶことができ、自分の指導方法を見つめなおすよい機会となる研修として大変好評でした。

## 「遊びを通しての子育て学習会」

日時 平成29年1月28日（土）14:00～16:00  
場所 八尾市立教育サポートセンター プレイルーム

八尾市の就学支援事業の一つとして、保護者と子どもで参加し、「遊び」を通して子どもの成長・発達について共に考える場として「遊びを通しての子育て学習会」を実施しています。全3回シリーズで、それぞれに「遊び」のテーマを設定し、いろいろな活動場面から子どもへのかかわり方について考えます。第3回目の今回は、「からだを使って遊ぼう！」をテーマに実施しました。体を動かすいろいろな遊びのなかで、体の使い方やバランス感覚を養ったり、保護者と子どもでダンスを踊ったりするなどして楽しみました。

まず初めにプレイルームで大型遊具を使って遊びました。滑り台やはしご・太鼓橋・トランポリンにチャレンジしたり、高い跳び箱からジャンプしたりと、ルールや順番を守り楽しみながら活動できました。最初は恐る恐る遊んでいた遊具でも、何度も繰り返していくことで、子どもたち自身に余裕が出てきて楽しめるようになり、表情からも自信が芽生えてきている様子が見られました。

次に保護者と子どもと一緒に棒を持って走る遊びをしました。『台風の目』の競技のように、目印でぐるっと回って折り返し、次の保護者と子どもにバトンタッチをしてリレーを楽しみました。その後の遊びでは、音楽に合わせてダンスを踊り、保護者と子どもで楽しみました。

その後、絵本の読みとどけの後に、パラバルーン遊びをしました。今回のパラバルーン遊びも、ドームを作ったり、曲に合わせてパラバルーンを動かしたりして楽しく活動できました。これらの遊びでは、みんなで力を合わせてひとつのことができる楽しさや、協力することのすばらしさを味わうことができました。

今後も八尾市立教育サポートセンターでは、このような様々な活動を通じて子どもとのかかわり方等について保護者と一緒に考えていきます。

## 平成28年度 ICT 担当者研修②

日時 平成29年2月6日（月）15:30～17:00  
場所 八尾市立教育サポートセンター 講座室  
講師 株式会社アーテック 森田 清忠 さん

本研修は、各校のICT担当者として、情報教育の発展と指導力の向上、及び情報機器の管理と保守について理解を深めることを目的に実施しています。この日は小学校と特別支援学校の担当者を対象に、株式会社アーテックの森田さんを講師に招き、次期学習指導要領において必修化される「プログラミング教育」について学びました。まずプログラミング教育の導入のねらい等について講義を受けた後、タブレット端末で組んだプログラムのおりにロボットカーを動かす実習を行いました。

参加した教員の感想には、「プログラミングと聞くと難しそうだったが、とても簡単にできて、よい教材だと思った」「大人でも楽しかったので、子どもはもっと楽しめると思う」「必修化に向けて準備をしていきたい」などがありました。

